



決定!

第1回

ファザー・
オブ・ザ・
イヤール
inみえ

Father of the
year in Mie

みえのステキな
“育児男子”を紹介します!
～受賞者一覧～



同時
発表

みえの育児男子写真コンテスト
ベストショット賞



主催 三重県 協賛 リゾート 里創人 熊野倶楽部・(株)伊賀の里 ねむざと モクモク手づくりファーム・合歓の郷ホテル&リゾート

表彰式：平成 26 年 11 月 23 日 (日・祝) 12:45 ~ 於：三重県総合文化センター

第1回 ファザー・オブ・ザ・イヤー in みえ

夫の家事・育児時間が長いほど、第2子以降の出生割合が高いと言われていることから、三重県では少子化対策の重要な項目の一つとして、「みえの育児男子プロジェクト」と銘打って、男性の育児参画の推進に取り組んでいます。

本事業は、一人でも多くの県民の皆さまに、男性の育児参画について関心を持っていただくこと等を目的に、子育て中の男性や、男性の育児参画を応援しているグループ、職場で従業員等の仕事と育児の両立を応援している上司や先輩等を募集し、「ステキな子育てをしている！」として多くの共感を得られた方々を、「ファザー・オブ・ザ・イヤー in みえ」として表彰し、その内容を紹介する取組です。

(募集期間：平成26年7月11日～平成26年10月15日)

👑 大賞：3名 P1～P3

川越町	<small>おとこざわ</small> 男澤	<small>ただのぶ</small> 忠宣 さん
津市	<small>いとう</small> 伊藤	<small>いっせい</small> 一生 さん
津市	<small>さかい</small> 坂井	<small>ゆうき</small> 勇紀 さん・ <small>ゆうと</small> 勇斗 さん 親子

👑 部門賞：7名・1団体 P4～P7

① “うちのパパ、ステキ！” 部門：夫やおじいさん、近所のおじさん、同僚など、周りでステキな育児をしている男性を本人以外から紹介いただく部門

松阪市	<small>かまくら</small> 鎌倉	<small>よしあき</small> 喜昭 さん
いなべ市	<small>みづら</small> 三浦	<small>まさひろ</small> 正弘 さん

② “我こそ育児男子・育ジイの星！” 部門：育児中の男性や、孫大好き“育ジイ”など、男性自身が自らの取組等を紹介いただく部門

いなべ市	<small>ひらお</small> 平尾	<small>つよし</small> 剛志 さん
多気町	<small>しむら</small> 志村	<small>かずひろ</small> 和浩 さん

③ “親子遊びは俺にまかせろ！” 部門：子どもと遊ぶことが大好きな男性の、得意な遊びやスポーツ、アウトドアなどを通じた子育てを紹介いただく部門

桑名市	<small>かわむら</small> 河村	<small>ひでゆき</small> 英行 さん
-----	------------------------	---------------------------

④ “私の街の育児男子応援団！” 部門：パパ友の集まりや、男性の育児参画を応援する活動を行っているグループ等を紹介いただく部門

四日市市	<small>まさもと</small> 榎本	<small>しげる</small> 茂 さん
------	------------------------	-------------------------

松阪市 かなめの関係をテーマに活動するパパ団体「ミエメン」

⑤ “イクボスさん、いらっしゃい！” 部門 従業員等の育児参画に理解があり、仕事と育児の両立を応援してくれる上司や先輩等を紹介いただく部門

多気町	万協製薬株式会社	<small>まつら</small> 松浦	<small>のぶお</small> 信男 さん
-----	----------	-----------------------	--------------------------

👑 みえの育児男子ベストショット賞 P8～P9

桑名市	<small>ながたに</small> 永谷	<small>のりゆき</small> 宜之 さん
津市	<small>たなか</small> 田中	<small>としお</small> 利雄 さん
川越町	<small>せこ</small> 瀬古	<small>たかし</small> 隆史 さん
津市	<small>そえた</small> 添田	<small>ゆうき</small> 祐貴 さん
津市	<small>しもさと</small> 下里	<small>いくと</small> 育人 さん

ファザー・オブ・
ザ・イヤー in みえ

大賞

川越町

おとこざわ ただのぶ
男澤 忠宣さん

推薦者 男澤 沙織さん（妻）

育児対象 お子さん（2歳）



推薦文：夫は結婚した当初から、子どもができたなら育児を積極的にやりたいと言うほど、育児に関心がありました。念願がなつて子どもを授かり、私が1年半の育児休暇を取得した後、夫が、職場の理解もあり、今年4月から1年間の育児休暇を取得することができました。夫は以前から、（頼めば）家事全般、何でも手伝ってくれる人でしたが、いつも「お手伝い」であったため、4月当初は、1歳半の息子との長い1日をどうやり過ごすのか、子どもは私が出勤した後、泣き続けないか、家事はある程度やってくれるのかと心配がありました。しかし、私の心配をよそに、夫は、夫なりの大胆な方法で育児と家事をこなし、子どもと2人の時間を毎日楽しんでいるようです。

具体的な方法は、育児については、子どもと本気で遊び、くたくたに疲れさせる作戦。お弁当を持参して、近くの公園で裸足になって遊ばせたり、愛知県の水族館の年間パスポートを取得し、ことあるごとに行ったり（子どもは魚が大好きです）、近隣市町の遊び場やプールをリサーチし、2人で出かけて行ったりと、母親の私では決して体力が続かないであろう方法で、午前中遊びまわり、午後は3時間程度ぐっすり昼寝をさせるスタイルです。また、家事については、細かいことはおかまいなし、家電に頼ろう作戦。食器洗いは食洗機、子ども服や靴下などの小物は乾燥機、掃除はルンバなどなど、夫の得意分野である家電製品を駆使し、抜ける手はとことん抜いています。また、

調理については圧力鍋を使いこなし、材料を切って、入れて圧力鍋にお任せメニュー。野菜など、とろとろに煮えるので子どもと一緒に食べられます。たまにパン焼き機でパンも焼いてくれます。さらに、4月当初から私のお弁当もほぼ毎日詰めてくれています。私が育児休暇中にお世話になっていた児童館に遊びに行き、私のママ友に育児の相談も聞いてもらっているようです（ママ友や児童館の先生方から私宛てに連絡をいただいています）。家事での私の役目は細かいことをすること（アイロンがけ、排水溝の掃除、子ども服の汚れの漂白など）、また、夫が一人になれる時間を週に1回は作ることです。

子どももすっかりパパっ子になり、私が出勤するときには笑顔で見送ってくれます（泣）。また、寝かしつけの時は夫がいないと寝ないですし、私の仕事が休みの日に、子どもを私がみて、夫が出かけようとする、涙を流して泣きます。ちょっと切ない気持ちになりますが、夫が日ごろから子どもをよくみてくれている証拠だと思います。

夫はよく、父親が育児休暇をとっていても「すごーい！」と褒められない社会に変えていきたい、と言います。育児はとても気力、体力がいる仕事。男性のほうが適している場面が多々あります。父親が育児休暇をとることが当たり前前の社会が近い将来くることを私も応援しています。

審査員共感
ポイント

- とにかく1年間の育児休暇を取得できたことがすごい。
- 子どもと本気で遊び、くたくたにさせて楽しませるのは、男性だからできること。
- 「子どもを私がみて、夫が出かけようとする、涙を流して泣きます。」という状況が目に見えて共感できる。
- 「父親が育児休暇をとってもすごーい！と褒められない社会に変えていきたい」という熱い思いが素晴らしい。

ファザー・オブ・
ザ・イヤー in みえ

大賞

津市

いとう いっせい

伊藤 一生さん

推薦者 伊藤 恵さん (妻)

育児対象 お子さん (4歳)



推薦文: 男兄弟の中で育ち、バリバリの体育会系のうちの主人。娘が生まれ、女の子の育て方に戸惑いもあったようです。…が！！気付いたら立派なイクメンに。

始まりは離乳食。娘が初めて口にした食べ物はパパが作った10倍粥。一生懸命食べてくれる娘の姿に感動し、休日になると育児書とにらめっこしながら離乳食を大量につくってくれてフリージングしてくれました。初めての育児で手いっぱい私は本当に助かりました。

娘の成長につれてそれも変化し、今では親子でキャラ弁を作って公園へ行ったり、一緒にパースデーケーキを作ってお祝いしたり。娘の友達が遊びに来ると、プチお料理教室をする事も。気付けばお料理上手のクッキングパパのようになりました。負けず嫌いの凝り症なので、上達も早く、今や私の出番なしです。

「安全でおいしいものを娘に食べさせたい」「何でも買うのではなく物を作る楽しさを伝えたい」「色々な事を娘と一緒に経験したい」というパパの思いからだと思います。

お料理中、パパは娘のやりたがることを決して危ないからと止めたり、汚したと怒ったりせず優しく見守ります。失敗しても勉強になる。やりたい気持ちを伸ばしたいと。

常に子どもの気持ちを考え、「自分がされて嫌なことや嫌な言い方は絶対子どもにしない」「子どもとした約束は、どんな時も守る」という彼のモットーがお料理中にも感じられました。

おかげ様で、娘はお料理だけでなく、色々なことに挑戦する楽しさや、失敗を怖がらず何度もやってみることを自然に身に付けたような気がします。

また、二人でメニューを決める→買い物に行く→一緒に作る→食べるということを通して親子の絆がグッと深まっているようです。

何より、娘は私が焼きもちをやく程パパのことが大好きで信

頼しています。

平日の夜でも、10分もあれば簡単なおやつができるので、娘のコミュニケーションタイム + 自分の好きなスイーツが食べられると一石二鳥なようです。

その他、娘を連れて児童館に行ったり図書館のお話会に出かけたり。娘が喜ぶのはもちろんのこと、パパも世界が広がり、地域の行事などにも積極的に参加するようになりました。ママ友もできるくらい！私はその間、家でゆっくりできる上に、パパが育児通になって帰ってくるのでとっても嬉しいです。

小さい頃は、なるべく自然と関わって育ててほしいと、お休みの日は石水溪や海、近所の本城山など三重の自然豊かな環境を楽しんでいます。

夜寝る前の、「パパのボディで遊園地」と読み聞かせが日課であり、娘の楽しみです。

娘が幼稚園に行きたがらなくなったある日、可愛いリボンを手作りし、「勇気の出る魔法のリボンだよ」と言ってプレゼント。娘は毎日のように「パパの魔法のリボンしていく〜」とっています。幼稚園の先生からも好評。

娘の「なんで？」に対して常に丁寧に答え、分からないことはきちんと調べて説明しています。時には二人で想像している姿も。

その他、休日の男の料理、育児全般何でもお任せのスーパーパパです。

何より「趣味 = 子育て」というくらい、娘大好き、育児は天職！なパパです。

正直、出産するまでここまで子煩悩で愛情豊かな人とは思いませんでしたが、娘が生まれてから感謝しっぱなしです。

娘4歳。彼もまだパパ4歳。これからの娘の成長とともにパパの成長も楽しみでしょうがない今日この頃です。

審査員共感
ポイント

○初めて口にした離乳食がパパのお手製なんてステキです。

○娘と料理を作っているときに、娘のやりたがることを危ないからと決して止めたりしないところが、母親にはなかなかできないかも。

○幼稚園に行きたくないとぐずる娘に「勇気の出る魔法のリボンだよ」とプレゼントしたエピソードがとてもステキ。

○娘の「なんで？」に対して丁寧に答えてくれるのが、母親にはなかなかできないことなので良い。

ファザー・オブ・
ザ・イヤー in みえ

大賞

津市

さかい ゆうき

坂井 勇紀さん

ゆうと

勇斗さん 親子

推薦者 本人(自薦)

育児対象 お子さん
(高2、中3、小6、2歳)



推薦文：中学3年生の長男を推薦させていただきます。この長男が出来る男でございます。次男は現在2歳です。そろそろ出産が近づいて来た2年前の夏の終わりの時期でした。

我家は自宅で会社経営しており、秋の時期は定期契約の仕事が数件あり、出産と仕事で頭が一杯でした。更に、退院から数日後に深夜に帰宅する仕事が決まっており、風呂をどうしようかも困っていました。そんな時に、この出来る長男が「俺がお風呂(沐浴)してやるよ!」と言ってくれました。

妻が退院してきた日は私のお手本沐浴です。一通り説明し、身振り手振りで見せてあげました。翌日、長男の人生初めての沐浴です。沐浴方法は事前及び前日に説明はしてありました。しかし、イメージトレーニングと現実は大きな差があった様です。ブルブル震える手で首と耳を抑え、ガーゼで恐る恐る体を拭いてあげ、プカプカ浮いてくるお腹をお湯の中に浸けてあげていました。「怖い。怖い。」と何度も言っていました。首も腰も据わっていないので「それは怖いやろな」と思いながらも「まだまだ序の口」と心の中で思っていました。子どもは非常に敏感で、長男の不安感を感じたのかギャーギャーの大反響で可哀想なくらい、泣かれています。その様なオーケストラ沐浴も数日で慣れてきて、次男もお風呂が気持ちよくなり、寝てしまうようなこともありました。「寝たぁ〜」と額に大粒の汗をかいて嬉しそうな顔をする長男を非常に嬉しく感じました。

次は湯船に浸かる難関です。長男が先に風呂に入りインターホンの呼び出しベルを鳴らすと体を綺麗に洗えた合図です。合図後、次男を風呂場内の長男に渡し、次の難関がスタートしました。姿勢は楽な姿勢ですが、次男の体中に付いた石鹸で「チュルンチュルン滑って行きそうで怖い」「体がフワフワや」と服を着ていない怖さをより一層感じたようです。頭・体洗い後は、

抱き上げ、浴槽を跨ぎ、湯船への移動です。何もかもが恐る恐るの行動でした。湯船に浸かっても、沐浴とは違い深いので「浮いてくるけど、落としそうで怖い」とカチコチな体で浸かっていました。「湯船に浸かれたな。序の口を通り過ぎたな」と思いながら、「そこからお前も湯船にプクプク・・・したんや」と思い出していました。次男は運よく湯船にプクプクする事なく、現在もお風呂に入れてもらっています。

その他全般、育児をしてきています。授乳(ミルク)、寝かしつけ等上手にしてくれました。男が寝かしつけを出来る「出来たぞ!」と立派になった様な気になります。長男も、早くもそうなったのか、「俺が寝かしつける」と意気込んで家の中をダッコとユラユラ散歩してくれました。

ここで父親の私のことです。高校2年の長女、上記の中学3年の長男、小学6年の次女、現在2歳の次男の4人子どもがおります。子どもたちのお風呂は沐浴から小学校位までは私が入れておりました。夜中のミルクも私の当番と思い、2時間おきのミルクを作ってあげておりました。歯磨き仕上げ磨きも私の当番です。今でも子ども達は虫歯はありません。長女は女子高ですが、授業参観には私1人で行きます。次女も難しい時期ですが、出来るだけ接するようしております。自分がよき父親であるかどうかは分かりませんが、子どもたちが親になった時、「じいじはこんな事をしたんだよ」と言って子どもの時のエピソードを笑い話にしてくれたらいいなと思っております。長男には「子どもと一緒に風呂」と言う強い武器を生まれながらに持っている事を分かってもらえたら良いなと思っております。その強い武器は「母親と言う存在」には全く通用しないことは、将来のお楽しみとしております。

審査員共感
ポイント

〇とにかく長男くんの育児ぶりに感動!自然に沐浴を協力できる場所は、パパの背中を見て育っているのかなぁ!と感じた。

〇長男に、一人の人として、育児に関わるという武器を備えたパパを評価したい。

〇世代を超えての育児は次世代につながっていくと思う。未来の育児男子!



松阪市

かまくら よしあき
鎌倉 喜昭さん

推薦者 鎌倉 良江さん(妻)

育児対象 お子さん
(1歳、3歳、6歳、7歳)



推薦文: 我が家は1歳から小1までの4人の子供がいます。本当に毎日が忙しいです。そんな中主人は、朝起きると洗濯物干し、その後朝食とお弁当作り、時間があれば夕食の下ごしらえをして朝食をとり、出勤します。夕方18時ごろ帰宅し夕食を食べると、1歳の娘と一緒に風呂に入ってくれます。パジャマを着せたり、髪の毛を乾かしたりもしてくれます。余裕があると明日の朝食の準備までしてくれます。外出が好きで公園やテーマパークにもよく連れて行ってくれます。子どもたちも大喜びです。主人の面倒見の良さは幼稚園でも有名で「本当によくやってくれるねえ」と感心されます。育児に家事にいつも本当に協力してくれるパパに心から感謝しています。

主人は料理が好きで元々手料理を作ってくれていました。子どもが4人になり、外食が減り家で食べるが多くなりました。主人が積極的に台所に入ることで、子どもたちも自然と食卓に集まり、料理や食への関心が出てきました。子どもたちからは「料理をしているパパがかっこいい!」と主人への尊敬もしています。得意料理は、から揚げやラーメンです。チャーハンや餃子やハンバーグは子どもたちも一緒に作ってくれています。私のほうは、幼稚園の役員をしているのですが、主人の協力のおかげで役員の仕事を無事にこなすことができます。主人が家事育児に関わってくれることで夫と私の絆も深まり、主人への感謝の気持ちを自然に持てるようになりました。

審査員共感ポイント

- 4人の子育ては相当大変だと思うけど、協力しながらしっかり育児してる。みんなの目標になってもらいたい。
- 自分の得意分野を生かした育児をしているところが良い。
- きっと仕事も大変なのに、家事や育児を苦にしない、理想的な育児男子!

いなべ市

みうら まさひろ
三浦 正弘さん

推薦者 三浦 真美さん
(正弘さんの子の妻)

育児対象 お子さん
(0歳、2歳)



推薦文: 隣に住むじーじは息子とよく庭遊びをしてくれます。散歩しながら草花の名前を教えたり、草むしりしたり。季節遊びもしてくれます。バーベキューしようと決めた時、竹を割って流しそうめんをやりました☆竹を運ぶ作業、切る作業、削る作業とすべて1人でやったほうが早いのに息子と一緒にしてくれます。もちろん2才児は邪魔しかしません。どんなに邪魔でも見守ってくれます。

軽トラの荷台に乗せたり、作業用の一輪車に乗せて散歩したり。とても私では思いつかない遊びばかり次から次へと感心します。

息子はじーじが大好き。 あたしもそんなじーじが大好き。



夕食後の一枚。かわいい孫にデレデレのじーじをパシャリ☆

審査員共感ポイント

- 孫が可愛いのは当たり前かもしれないけれど、子育て世代ではなかなかできない昔からの遊びや自然体験などを日常でしてくれるのがとてもありがたい。
- お嫁さんの立場からじーじが大好きと言えるなんて、なんてステキなおじいちゃんなの!
- 世代を超えた育児をしてくれる大切な存在。これからもこうやって次世代に引き継いでほしい。



いなべ市
ひらお つよし
平尾 剛志さん

推薦者 本人（自薦）

育児対象 お子さん
(4歳、5歳)



推薦文：産まれた時から寝かしつけを担当していた私。今でも寝かしつけは父親である私の担当。毎日寝る時にする事は、「1日の楽しかった事の発表会」。年子の娘たちは保育園で友達と遊んだ事や先生と何かを作ったなど、嬉しそうに話をします。もちろん私も発表をします。仕事が進んだ。会議がまとまった等を子どもに分かるようにお話します。娘たちの話を毎日聞いているので、保育園の友達の名前はほとんど言えます。最後には「明日も楽しい1日にしようね♪おやすみ♪」です。

そんな風に接してきたので、娘たちも私のことが大好きのようなのです。先日、些細な事で5歳の長女と喧嘩をしました。その日の夜にもらった手紙です。

おとうさんへ

いっぱいだいすきだよ

きょうはもんくゆてごめんね

ほんとわゆいたくなかたんだよ

きょうはかきごおりかてくれてありがとう

きょうはかたずけしてくれてありがとう

いつでもあそぼうね

めいより

娘の成長をすごく感じた瞬間でした。これからも寝かしつけを通して、たくさんコミュニケーションをとり、いつまでも娘たちが大好きなお父さんでいたいと思います。

審査員共感ポイント

- お子さんの素直な手紙に心打られました。
- コミュニケーションをしっかり持ち、喧嘩までできる親子関係に共感した。
- 1日の発表会という家族の時間をきちんととっているところがステキ！自信をもって育児をしている姿がある。



多気町
しむら かずひろ
志村 和浩さん

推薦者 本人（自薦）

育児対象 お子さん
(0歳、4歳、6歳)



推薦文：昨年4月に東京から三重県に家族4人で引っ越ししてきました。10月には次女が生まれ、今では家族5人で多気町に暮らしています。私はフリーランスで仕事をしていることもあり、家族と一緒に過ごす時間が多く、食事づくりと授乳以外は全ての家事と育児を妻と分担しながら担っています。おかげさまで、パパ友は少ないのですが、近所のママ友とはフェイスブックなどで情報交換などしています。

そんな中、昨年10月に地元の多気町丹生でハロウィンイベントを企画、運営しました。理由は東京から越してきた当初、長男（現6歳）と長女（現4歳）が時々東京に戻りたいとシクシク泣いていたこと。何とか三重での生活が楽しいと感じてもらえるようにできることは無いかなと考え、衣装を着てお菓子をもらえるハロウィンイベントを開催しようと決めたのです。でもせっかく自分たちで開催するなら、丹生ならではのイベントにしたいと考え、地元の和菓子屋さんやまめやさん、食改グループに手づくりお菓子の準備をお願いし、実現にこぎつけました。こうしてイベントの準備を進めるうちに地域の方々ともつながることができ、信頼関係も築くことができましたし、たくさん子どもたちにも顔を覚えてもらうことができました。参加者も当初は100人限定の予定でいたところ、最終的には150人の子どもたちが参加していただき、たくさん笑顔を見ることができました。今年も地域の方々に応援いただき、11月3日に無事開催することができました。昨年は雨天のため屋内でのイベントでしたが、今年は丹生の田園風景に、可愛い衣装を着た子どもたちが楽しそうに歩き回る笑顔の花が咲きました。

審査員共感ポイント

- 子どもと地域を結びながら、育児に取り組む姿を感じた。
- 都会から引っ越してきて、地域を巻き込んでイベントを開催できる行動力がすごい！
- 日ごろの子どもとの関わりを当たり前と思っている姿勢に好感が持てる。



桑名市

かわむら ひでゆき

河村 英行さん

推薦者 河村あづみさん(妻)

育児対象 お子さん
(6歳)



推薦文:うちのパパは、子どもが産まれたときに2週間育児休暇をとってくれました！初めての子育て、昼に寝て夜起きるとい生活リズムの息子に私は戸惑うことばかりでまいってしまいましたが、夜の弱い私の代わりに夜中に起きて息子を抱っこしてくれたり、泣き止まない息子をどのようにあやしたらよいか一緒に悩んだり、育児休暇中の2週間、とても濃い時間を過ごすことができ、夫の育児の理解も強まったように思います。

何より育児休暇をとってくれて良かったなと思うのは、育児休暇が終わったあとのパパの育児への考え方です。

2週間未知の生き物である赤ちゃんのみっちゃん一緒にいたことで、育児の大変さをとてもよく理解してくれて、仕事が忙しくても育児、家事を手伝ってくれたり、まだ話せない子どもと二人きりで過ごしているいろいろたまっている私の話を仕事が忙しくて帰るのが遅くてもずっと聞いてくれたり、育児に関わる時間は短くなくても、すごく理解してくれてるなど実感でき、とても頼りになりました。

そんなパパですが、最近は仕事がとても忙しく、平日は息子が起きている時間に帰ってくることがほとんどありません。仕事なのでしょうがないのですが、息子も少し寂しそうでした。このままではパパと息子の距離が開いてしまうという危機感を持ったパパが思いついたのが、少林寺拳法を家族3人で始めるということでした。息子はもちろんパパも全くの初心者です。パパの得意なことを息子に教えるというのも素敵だな、と思いますが、親子で新しいことを始め、成長していく、上から教えるのではなく、同じ目線から始め、大人だって何でもできるわけじゃないけど、努力して成長するんだよ、という姿を子どもに見せることは、とてもカッコいいなと思います。

息子とパパの距離もすっかり縮まり、週末にパパと息子が家でお互いに教えあいながら少林寺の練習をする姿を見るのが、今の私の一番の幸せな時間です。

審査員共感ポイント

- 2週間でも育児休暇を取ってくれたところがステキ。ママはその気遣いが欲しいんです。
- 夜が弱い妻の代わりに夜中に子どもをあやしてくれると、妻も精神的に安定する。
- 少林寺拳法を通じての、育児への思いや親子の絆を感じた。



四日市市

まきもと しげる

榎本 茂さん

推薦者 井上 誠二さん(大瀬古町子供と地域の環を育む会会長)

育児対象 地域の子ども達



活動: 日永1丁目 旧東海道交差点 子ども見守り活動

場所: 四日市市日永地区 日永1丁目 旧東海道交差点

主催: 大瀬古町子供と地域の環を育む会 榎本茂さん

推薦文:旧東海道交差点で、榎本さんは数十年間も毎日、登校日に子ども達の見守りを奥さんで行っていました。

平成24年1月に病で倒れ、近隣の方からは今度は年寄は見守られる方だと言われた事もあり、子ども見守り隊を一度辞めました。

平成25年4月から私(大瀬古町子供と地域の環を育む会会長の井上)が代行として、旧東海道の交差点に立つことになりましたが、引継期間として、榎本さんより1週間の立会をしていただくことになりました。

その後、榎本さんは体調も良くなり、子どもの笑顔が元気の源であるとして、継続して毎日子どもの見守りを行っています。

子ども見守り隊をやめると言ってから1年半が過ぎましたが、今も元気に毎日見守りを行っています。

毎朝元気に子ども達とあいさつを交わし、交通事故防止活動をしている姿には感謝しております。

地域の方々に子ども達は育てられていると思います。

審査員共感ポイント

- 十数年もご夫婦で子どもたちの見守りを行い、地域の中で子どもを育てていくという姿勢がとても良い。
- 続けることの大変さは、すごくわかる。その姿は、次世代につながっていくことを感じた。
- 今、登下校も心配な時代に、こういった地域の育児男子がいると安心できる。“ありがとう”の一言を伝えたい。



松阪市
 ななめの関係を
 テーマに活動するパパ団体
ミエメン

推薦者 川端賢一さん
 (「ミエメン」メンバー)
育児対象 団体に参加するパパの子
 供達+地域の子供達



推薦文：ミエメンは、「忙しいパパでも、子ども達の豊かな成長のためにできること」を、実践を通じて学んでいるパパグループです。実践のテーマは「ナナメの関係」。「子ども達」と「親以外に、地域の中で教えてくれたり叱ってくれたりする大人」との関係、いわば「近所のおじちゃん」的な関係を「ナナメの関係」とし、その関係が豊かになることで、子ども達の成長や家族関係にどう影響をするのか、を研究しています。

取組内容は、定期的にメンバーの家族が集まり、メンバーが各自の特技を生かして、子ども達の成長につながり、思い出に残る企画を実施しています。例えば、大きい鯉のぼりがある家で「屋根より高い鯉のぼりを自分達で作ろう!」、段ボールを使って自分で鎧・剣・変身アイテムを作って「ミエメンヒーローごっこ」、メンバーの家庭菜園で「野菜の収穫体験」など。その際、パパはできるだけ我が子以外の子どもと関わるようにし、実施後は反省会を開催して、子ども達との関わり方や気付いたことを話し合い、その後の自分の子育てに活かしています。また、取組がパパ達の自己満足に終わらないよう、ママ達に「監視人」として参加してもらい、取組の間にはママにゆっくりお茶を飲んでもらう、そんな時間も設けています。

ミエメンは「互いの顔が見える」パパの関係だからこそ実践できる内容であり、幅広く参加者を公募する性質ではありませんが、ミエメン活動で得られたことを地域の「パパの育児参画」に貢献できれば、という思いから、広く参加者を募集するイベントも実施しています。例えば、「パパをイクメンに導くには」をママも子ども達も一緒にみんなで考える「家族参加型ワークショップ」の開催など。また、NPOや行政などが実施する各種セミナーに協力して、ミエメンで学んだことを生かした「キッズワークショップ」をセミナー参加者の子ども達を対象に実施するようになりました。

これからも、ミエメンのノウハウはドンドンと地域に提供し、自分達なりに男性育児参画が盛んになることに貢献したいと想います。

審査員共感ポイント

- 実践のテーマ「ナナメの関係」を大事にしているところに注目したい。
- 子育てを楽しもうという姿勢や、自己満足で終わらせない、そんな思いでしっかりと活動しているところが良い。
- 父親だからできる遊びを教えたり、母親には思いつかないようなことを、団体で行っているところが良い。このつながりや手法を地域に提供して、この輪を広げてほしい。



多気町
 万協製薬株式会社
 代表取締役社長
 まつうらのぶお
松浦 信男さん

推薦者 檜垣紀安さん (同社社員)
育児対象 従業員の子ども



推薦文：

○ワーク・ライフ・バランス活動への積極的な取り組み

さまざまな取り組みは、「どうすれば社員が会社の仕事に楽しく取り組めるか」のため。そのためには、「仕事」と「休み」がバランスよく取れることが必要であることから、従業員がやりがいを持って働き続けられるよう、ワーク・ライフ・バランスの制度を充実させている。

- ・育児休業は最長3年まで取得可能で、復帰後は子が就学前まで1日3時間まで短縮することができる育児短時間勤務制度を設けており勤務形態にかかわらず、利用実績がある
- ・育児休業は下記掲載と同じ、育児短時間勤務は現在までで5名が利用、現在は4名利用中(正社員2名、契約社員2名)
- ・H26年4月より育児短時間勤務制度の期間を子が小学校卒業までに延ばし、家族手当の支給範囲(税法上の扶養親族から健康保険上での扶養親族へ)をも広げた。
- 男性の育児参画の取組み(男女にかかわらず育児休業が取りやすい職場環境づくり)
- ・H21～現在、女性は出産者5名中5名が育児休業を取得し、男性も1名(H22年4月～H23年1月の10か月)が取得している。(女性5名中3名が第一子、第二子の2度の取得実績があります。)復帰後には、会社内で育児休業について発表し、男性の育休取得への理解を深めるように取り組んでいる。
- ・育児短時間勤務についても、妻の産後の回復していない時期に、男性職員が幼稚園の送迎に利用(H23年7月の2週間)。その体験を三重県の男女共同参画フォーラムで紹介した。
- ・配偶者出産時休暇(3日間有給)の取得率は、対象者14名中14名が取得(H21年～現在)
- ・アンケート実施、管理職、全社員研修の実施等により、取得しやすい職場環境づくりに努めている。

審査員共感ポイント

- ここまで考えてくれる会社はない!と皆口をそろえて話していた。
- 社員のためにさまざまな取り組みを行い、制度だけでなく、風土づくりもしっかりと行っているところがすごい!
- 育児休暇を取りやすくなるよう会社が取り組んでくれているところがありがたい。

同時
開催!

みえの育児男子写真コンテスト

みえの育児男子

ベストショット賞



“うちのパパ、
ステキ!”
部門

ながたに のりゆき

永谷 宜之さん (桑名市)

推薦者: 永谷 愛さん (妻)

エピソード: 風邪を引いた娘の事が心配すぎて仕方がない様子の夫。

嘔吐に熱、咳、鼻水で、汚れてしまったシーツやタオルやパジャマをすぐに洗ってくれたり、私のサポートに徹してくれます。

アンパンマンの冷えピタも夫が買ってきてくれたものです。



“うちのパパ、
ステキ!”
部門

たなかとしお

田中 利雄さん (津市)

推薦者: 田中 さやかさん (妻)

エピソード: 3歳の息子が公園の遊具で遊びたがったものの、まだ小さくてひとりでは乗れず。そこで父ちゃん、息子を首に巻くとびょーん!と大ジャンプ。息子もパパ自身も大喜びでした。早朝から深夜まで毎日仕事で忙しいパパですが、休日はいつ子どもたちのために一生懸命です。それをちゃんと分かっているのが、過ごす時間が短くても子どもたちはパパのことが大好きです。

“親子遊びは
俺にまかせろ!”
部門





“うちのパパ、ステキ！”
部門

せこ たかし
瀬古 隆史さん (川越町)

推薦者：瀬古 実季さん (妻)

エピソード：洗濯物を干すパパとカゴから洗濯物を取り出すのをお手伝いの我が子



そえ た ゆ う き
添田 祐貴さん (津市)

“うちのパパ、ステキ！”
部門

推薦者：添田 妙さん (妻)

エピソード：いつもパパと娘が遊びに行く近所の公園でピクニック。

どこに行くにも密着しているラブラブな二人の楽しいひと時、私のお気に入りです！



“我が子
育児男子・
育ジイの星！”
部門

しもさと いくと
下里 育人さん (津市)

推薦者：本人 (自薦)

エピソード：仕事の休み時間に、園の行事に飛び入り参加。

娘は大喜び！私はリフレッシュ！

いただいた給食が、とびきりおいしかったです。



問い合わせ先

三重県健康福祉部 子ども・家庭局 少子化対策課

〒514-8570 津市広明町 13 番地

TEL : 059-224-2269 FAX : 059-224-2270

Mail : shoshika@pref.mie.jp

